

食とみどりの新発田っ子プラン

～新発田市の食育「幼児編」～

食を通して生きる力を育む

「食育」がめざす子ども像

幼児期から「豊かな大地を基盤とした食のサイクル」の学びを経て

- 年長児で「一人でごはんが炊ける子ども」
- 小学6年生で「一人で弁当を作れる子ども」
- 中学3年生で「一人以小煮物(のっぺ)のある夕食1食分を作れる子ども」

豊かな大地からの出発

返す(リサイクル)

食の循環を意識し、食べ物を大切にする心を育む



牛乳パックのリサイクル

育てる(栽培)

生産者や自然の恵みに感謝し、命あるものを大切にする心を育む



枝豆の苗植

食べる

望ましい食習慣を身につけ、作ってくれた人に感謝しながら、食べることを楽しむ心を育む



おいしい給食の時間

作る(料理)

健康と食事の関連を意識し、命あるものに感謝しながら料理を楽しむ心を育む



ごはんを炊いてみよう!

幼稚園・保育園の教育、保育活動の中心に食育を

連携

食育の基本は家庭から

食のサイクル

平成20年4月から、市内全幼稚園・保育園、小・中学校において「食の循環によるまちづくり」の考えをもとに、「食とみどりの新発田っ子プラン」を進めています。

このプランは、子どもたちが『食のサイクル(「育てる(栽培)」→「作る(料理)」→「食べる」→「返す(リサイクル)」→「育てる」・・・)』の知識と実践力を身につけて、自立して生きていくために必要な力や、豊かな心を育むことをねらいとした、新発田市独自の食育プランです。

このプランでは、園の年長児で「一人でごはんが炊ける子ども」、小学6年生で「一人で弁当を作れる子ども」、中学3年生で「一人以小煮物(のっぺ)のある夕食1食分を作れる子ども」をめざす子ども像と設定して、みんなでこの目標に向かい、協力して取組を進めています。